

伊丹市議会議員 **おおつる 求** の活動報告

みんなちがって、 みんないい



新病院の基本方針固まる

近中と統合し600床規模の高度急性期病院建設へ

現地建替えて2025年開院を目指す

伊丹市と公立学校共済組合（近畿中央病院）間で議論されてきた「新病院」の全体像が、昨年12月24日に開催された「市立伊丹病院検討特別委員会」で明らかになった。

老朽化による建替えが迫られている両病院を統合し、診療を継続しながら、市立伊丹病院敷地内に600床規模の高度急性期病院を建設。2025年開院を目指す。

市立伊丹病院

1983年竣工。
31診療科、414床の
急性期病院。

近畿中央病院

公立学校共済組合が、
近畿地方の公立学校教職
員等への福祉サービスと
して1956年に開設。
1975年に総合病院に
なり近中(キチュウ)の愛称
で親しまれている。
26診療科、445床の
急性期病院。

論点① 経営主体は「伊丹市」

現在の市立伊丹病院と同様、市直営の基幹病院と位置づける。
それにより議会のチェック機能も確保される。

論点② 回復期・慢性期の病床確保に努める

民間病院との連携を強めるとともに、回復期・慢性期機能を有する医療機関を誘致する等、必要な病床数確保へ努める。

[整備スケジュール案]

2020年～ 基本設計・実施設計

2021年中旬～ 建設工事開始

2025年中旬 開院

その後、現在の建物を除去

2026年中旬 整備終了

論点③ 新病院への良好なアクセスを検討

市営バスの路線や便数を含め、
開院までに来院者のアクセス向上策を検討する。

今後の進展状況もしっかりとチェックしていきます。

皆様のご意見・ご質問をお待ちしております。

日々の活動をブログやFacebookに掲載。「おおつる求」で検索!

ギフテッドを含めた「生きづらさ」を抱えている子に対し、
**「その力を高く評価し褒め励ますことで
『やる気』を最大限のばしていきたい」**

木下教育長が議会で答弁

昨年、NHK クローズアップ現代+で取り上げられ、大きな反響があった「ギフテッド」。番組アンケートでも約9割が日々の生活に「生きづらさ」を抱えているという結果だった。

特に「ギフテッドの子ども」は、“ムラ社会”や“同調圧力”に対応できず、教師や級友から「扱いづらい子」とレッテルをはられ、人間関係のストレスで心身の体調を崩したり、不登校になることも珍しくない。

■これは「一律・一斉・一方向型教育」をすすめてきた

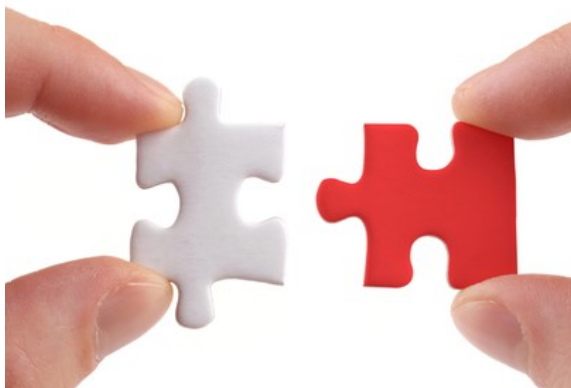
この国の「教育行政の問題」。

ただ国が具体的に動いてない以上、悩み苦しんでいる子どもを直視し、可能な限り現場で対応するしかない。

■まず、「ギフテッドを知ってもらう」こと。

ギフテッドの子どもを育てる多くの保護者と話して感じたこと、それはちょっとした先生の“声掛け”や、授業を“工夫”するだけで「救われる」ギフテッドの子どもはたくさんいるのでは、ということ。

そのために、まず教職員の方々に「ギフテッドを知ってもらう」ことから始めなければならない。



教育長は「本市の教育方針の一つに『誰一人取り残さない教育』を掲げている」とも答弁された。

■授業方法に適応できない子にも目を向けて。

勉強についていけない子に「手を差し伸べる」のと同じように、クラス全員同じペースで授業を受けることを強制され、不適応を起こし苦しむ子にも目を向ける教育を今後も目指して欲しい、と要望した。

ギフテッドの子どもとは

コネチカット大学で教育心理学を学ぶ知久麻衣氏は次のように説明する。

同年齢の子達と比べ、明らかに高い能力やポテンシャルが、一つ以上の領域で認められ、それに見合ったアカデミック面での配慮や、適切な環境にないと、困り感や問題行動がでてしまう子ども。



「ギフテッド」基礎知識

- ギフテッドの子は、いわゆるエリートと違い、凸凹がある。
- 医師に診断される医療用語では無く「教育心理用語」。
- 日本には研究者が少なく、概念も根付いていないため、誤解も多く、日々生きづらさを感じる方が多い。

12月議会 アレコし

私を含め22名の議員が、各分野の質問をした12月議会。
その中から、身近な話題をピックアップしてご報告。



今年市制施行80周年



1940年11月、伊丹町と稲野村が合併して市となったため、2020年は市制施行80周年。「たみまる」と「ヒコまる」をあしらったオリジナルロゴマークを作成し、広く市内外に宣伝するとともに、11月10日には記念式典を開催する予定。また伊丹大使の方々にご協力いただき、広くPRしてもらうことを企画している。

保育所等への入所選考ポイントを公表

保育所等への入所選考における透明性を高めるため、従来非公表だったポイント内容を昨年9月から公開した。4月の入所調整から用いられる。昨年12月1日時点で前年度同月を86名上回る560名の待機児童があるが、施設整備を急ぎ、4月1日時点で「4年連続待機児童ゼロ」を目指す。



ことば文化都市・伊丹は図書館が充実している



2019年度の学校図書費は1校あたり小学校が約136万円、中学校が約150万円で、県内他市と比較しても充実した予算額になっている。また2018年度の図書整備数は小学校が約23万6千冊(充足率121%)、中学校が約14万冊(124%)の整備実績。一方で劣化が激しいものや内容が古くなった本は年度末に“破棄”。その冊数は、2018年度でいえば、小学校1校あたり約1000冊、中学校1校あたり約1400冊になるという。

地道なカラス対策

ゴミステーションを荒らすなど、鳥害となっているカラス。1995年以降、市内で生ゴミを漁るカラスが急増した。それにあわせて川西市などの山林に帰らず、昆陽池公園等でねぐらを形成するようになる。2008年頃から市内中心部でも繁殖するようになり、その後も増加している、という。

市は個体数が最大になる毎年12月に昆陽池公園で調査して個体数を把握するとともに、1~3月に捕獲・駆除作業を実施している。



フォト・ダアイアリー [おおつる求ブログ・Facebook から]



[写真説明・左上から時計回り]

- 阪神土建労組伊丹支部 市と政策懇談。
- 稲野のダンジリ。一日かけて町内をまわる。
- 三池 CO 爆発抗議集会で愛知・保田さんと。
- 出会いのひろば“第24回伊丹マダン”。
- 労組潰しの弾圧に抗議。大阪市内をデモ行進。
- 三池を語る立山氏。今年三池争議60年。



市バス高齢者無料パスの現状

	発行枚数	発行割合
2018年	28,900	74.8%

70歳以上の市民を対象にした施策である「市バス特別乗車証」。
 鉄道空白地帯8割の本市に不可欠で、市民認知度も高い。『市営』バスだからこそ続けられる施策であるのは言うまでも無く、今後も大切にしていきたい。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
 困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留もとお
 伊丹市議会議員 おおつる 求

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■2015年の市議選に社民党公認で出馬し初当選。2019年に再選、2期目 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会副会長

日々雑感

- 菊、生け花、絵、写真、編み物、陶器、お茶席。稲野総合文化展は大盛況。
- 最新の世界男女平等ランキング、日本は121位で最低記録を更新。
- 夏に咲いたアサガオの種を埋めたら、なぜか11月下旬に咲いた。嬉しいような、恐ろしいような。温暖化？
- 誰かの犠牲の上に成りたつ恩恵を享受する社会、行き過ぎた便利さ、「ホントにいいの?」と問いかける。
- ケン・ローチ監督「家族を想うとき」。
- 「市民との協働」ってナンナダ。
- 「伊丹マダン」巡り、問われる伊丹市。
- 三池CO大爆発で亡くなった方々の慰霊碑建設を三川坑敷地内に計画。
- 秋までの完成目指して取組み中。
- 今だからこそ労働運動を考える。
- 新企画「働く者の交流会」を開催。
- 合流問題で明け暮れる年末年始。希望はあるか。急ぎながらも慎重に。
- 昨年4月に1,455票いただき、早9ヶ月。今年も地道に活動したい。